

## 製品安全データシート

作成日 2013 年 08 月 05 日

改訂日 2022 年 06 月 30 日

## 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称: 撥水カーシャンプー(2 型)  
製品コード: SW II  
会社名: 株式会社アイゼンコーポレーション  
住所: 福岡県粕屋郡篠栗町津波黒 95-8  
担当部門: 開発部  
電話番号: 092-719-1955  
緊急時の電話番号: 092-719-1955  
FAX番号: 092-947-7665  
メールアドレス: office@aizen-wbc.com  
推奨用途: 自動車のボディ用 艶出し・撥水剤

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 物理化学的危険性

## 健康に対する有害性

## 環境に対する有害性

引火性液体 区分 4  
皮膚腐食性・刺激性 区分 3  
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性 区分 2  
水生環境有害性(急性) 区分 3  
※ 記載のない項目は区分外、分類対象外もしくは分類できない。

## ラベル要素

## 絵表示又はシンボル:

注意喚起語:  
危険有害性情報:

警告  
可燃性液体  
皮膚刺激  
強い眼刺激  
水生生物に有害

## 注意書き:

## 【安全対策】

使用前にラベルをよく読むこと。  
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
取扱後は手をよく洗うこと。  
環境への放出を避けること。

## 【応急措置】

医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。  
火災の場合: 消火に水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素(CO2)を使用すること。  
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。

## 【保管】

## 【廃棄】

換気の良い場所で保管すること。子供の手の届かない涼しいところに置くこと。  
内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成、成分情報

## 単一製品・混合物の区別

混合物(液体)

成分名	含有率・%	CAS-No.	国連番号	化審法	安衛法
アミノ変性メチルポリシロキサン	<3.0	非公開		非公開	非公開
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	<1.1	112-34-5		(2)-422	2-(8)-99
ヤシ油アルキルジメチルアミンオキッド	<1.7	61788-90-7		有り	既存
プロピレングリコール	<1.5				
水、その他 非危険有害物質	残量	-	-	-	-

#### 4. 応急処置

<p><b>吸入した場合:</b></p> <p><b>皮膚に付着した場合:</b></p> <p><b>目に入った場合:</b></p> <p><b>飲み込んだ場合:</b></p> <p><b>応急措置をする者の保護:</b></p> <p><b>医師に対する特別な注意事項</b></p>	<p>新鮮な空気の場合に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。</p> <p>汚染された衣服を脱ぐ。石鹼と多量の水で洗い流す。皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。</p> <p>水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>口をすすぐこと。直ちに医師の手当てを受けること。</p> <p>被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。</p> <p>救助者は可能な限り適切な保護具(手袋・眼鏡)を着用する。</p> <p>特別な解毒剤はない。症状に応じて対症的に治療する。</p>
---	--

#### 5. 火災時の措置

<p><b>消火剤:</b></p> <p><b>使ってはならない消火剤:</b></p> <p><b>特有の危険有害性:</b></p> <p><b>特有の消火方法:</b></p> <p><b>消火を行う者の保護:</b></p>	<p>二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤</p> <p>棒状注水</p> <p>引火性の高い液体及び蒸気。</p> <p>加熱により容器が爆発するおそれがある。</p> <p>加熱および火災により有害な蒸気/ガスが生成されることがある。窒素酸化物。(腐食性有り)</p> <p>火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。</p> <p>消火作業は、可能な限り風上から行う。</p> <p>関係者以外は安全な場所に退避させる。</p> <p>周囲の設備等に散水して冷却する。</p> <p>消火の為に放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。</p> <p>移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。</p> <p>消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。</p> <p>消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。</p>
---	--

#### 6. 漏出時の措置

<p><b>人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:</b></p> <p><b>環境に対する注意事項:</b></p> <p><b>回収、中和:</b></p> <p><b>封じ込め及び浄化の方法・機材:</b></p> <p><b>二次災害の防止策:</b></p>	<p>作業には必ず保護具(手袋・眼鏡・マスク等)を着用する。</p> <p>多量の場合、人を安全な場所へ退避させる。必要に応じた換気を確保する。</p> <p>漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。</p> <p>少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。</p> <p>少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。</p> <p>大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。</p> <p>大量の場合、散水は、蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所では燃焼を抑えることが出来ないおそれがある。</p> <p>危険でなければ漏れを止める。</p> <p>漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。</p> <p>蒸気抑制泡は蒸発濃度を低下させるために用いる。</p> <p>すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。</p> <p>排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。</p>
---	---

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

<p><b>取扱い</b></p> <p><b>技術的対策:</b></p> <p><b>局所排気・全体換気:</b></p> <p><b>安全取扱い注意事項:</b></p> <p><b>接触回避:</b></p> <p><b>保管</b></p> <p><b>注意事項:</b></p> <p><b>保管条件:</b></p>	<p>「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。</p> <p>「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。</p> <p>すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。</p> <p>作業場の換気を十分行う。</p> <p>火気注意。</p> <p>ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。</p> <p>取扱い後はよく手や顔をよく洗い、うがいをする。</p> <p>皮膚や粘膜に触れたり、目に入らないように注意する。</p> <p>屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。</p> <p>「10. 安定性及び反応性」を参照。</p> <p>空容器は適切に管理し又はそれを廃棄する場合は残留物のないことに留意する。</p> <p>作業場の換気を十分に行う。</p> <p>熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。-禁煙。</p> <p>冷所、換気の良い場所で保管すること。</p> <p>酸化剤から離して保管する。</p> <p>容器は直射日光や火気を避けること。</p> <p>容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。</p> <p>施錠して保管すること。</p>
---	---

**混触危険物質:** 「10. 安定性及び反応性」を参照。  
**容器包装材料:** 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

**8. ばく露防止及び保護措置**

**管理濃度:** 製品としてのデータなし  
**設備対策:** この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。  
 蒸気、ヒューム、ミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度以下に保つために換気装置を設置する。

**保護具**

**呼吸器の保護具:** 適切な呼吸器保護具を着用すること。  
**手の保護具:** 適切な保護手袋を着用すること。  
**眼の保護具:** 側板付き安全眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。  
**皮膚及び身体の保護具:** 適切な保護衣を着用する。  
**衛生対策:** 眼に入れない。皮膚に触れないようにする。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 取扱い後はよく手を洗うこと。

**9. 物理的及び化学的性質**

**物理的状態、形状、色など:** 液状 無色～淡黄色  
**臭い:** 微臭  
**pH:** 6.0(±0.5)  
**融点・凝固点:** データなし  
**沸点、初留点及び沸騰範囲:** データなし  
**引火点:** 製品としての情報なし <4.5%含有成分のジエチレングリコールモノブチルエーテル:78℃>  
**爆発範囲:** データなし  
**蒸気圧:** データなし  
**蒸気密度(空気 = 1):** データなし  
**比重(密度):** 0.987 (20℃)  
**溶解度:** 水・アルコールに可溶  
**オクタノール/水分配係数:** データなし  
**自然発火温度:** データなし  
**分解温度:** データなし  
**臭いのしきい(閾)値** データなし  
**蒸発速度(酢酸ブチル = 1):** データなし  
**燃焼性(固体、ガス):** 該当しない  
**粘度:** データなし

**10. 安定性及び反応性**

**安定性:** 通常の条件においては、安定である。  
**危険有害反応可能性:** 78℃以上では蒸気、空気の爆発性混合気体を生じる場合がある  
 爆発性過酸化物を生成することが推測される  
 強力な酸化剤と反応する  
**避けるべき条件:** 高温、裸火  
**混触危険物質:** 強酸化剤  
**危険有害な分解生成物:** 加熱又は燃焼により下記の分解生成物を発生する可能性がある。一酸化炭素、二酸化炭素等の酸化炭素類、不完全燃焼により生成する微量の炭素化合物。二酸化珪素。窒素酸化物。ホルムアルデヒド。

**11. 有害性情報**

**急性毒性:** 経口: 区分外  
 経皮: データ不足で分類できない。  
 吸入: データ不足で分類できない。  
**皮膚腐食性・刺激性:** 製品についての情報: 区分2の含有量が1~10%のため、区分3とした。  
 成分についての情報: アミノ変性メチルポリシロキサン  
 皮膚刺激 区分2  
 成分についての情報: ヤシ油アルキルジメチルアミノキシド  
 0.3% = わずかに中等程度の紅班、浮腫及び中程度の上皮剥離を示した。ラウリルジメチルアミノキシド(区分2)  
**眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:** 製品についての情報: 区分1の含有量が1~3%のため、区分2とした。  
 成分についての情報: アミノ変性メチルポリシロキサン  
 重篤な眼の損傷 区分1  
 成分についての情報: ジエチレングリコールモノブチルエーテル  
 分類済み: 強い眼刺激 区分2A

<p><b>呼吸器感作性又は皮膚感作性:</b></p> <p><b>生殖細胞変異原性:</b></p> <p><b>発がん性:</b></p> <p><b>生殖毒性:</b></p> <p><b>特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露):</b></p> <p><b>特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露):</b></p> <p><b>誤えん有害性: その他の情報</b></p>	<p>製品についての情報:ヤシ油アルキルジメチルアミノキシト<sup>*</sup> ラビット、Draize 法で刺激あり。ラウリルジメチルアミノキシト<sup>*</sup> 区分 2A</p> <p>製品についての情報:データ不足で分類できない。</p> <p>製品についての情報:ヤシ油アルキルジメチルアミノキシト<sup>*</sup> 皮膚感作性なし、呼吸器感作性の情報なし。ラウリルジメチルアミノキシト<sup>*</sup></p> <p>製品についての情報:データ不足で分類できない。</p> <p>成分についての情報:ジエチレングリコールモノブチルエーテル 区分外</p> <p>成分についての情報:ヤシ油アルキルジメチルアミノキシト<sup>*</sup> 分類できない</p> <p>成分についての情報:プロピレングリコール Ames試験:陰性 染色体異常試験(ヒトリンパ球):陰性(IUCLD Release 3.1, 200.2)</p> <p>製品についての情報:データ不足で分類できない。</p> <p>成分についての情報:ヤシ油アルキルジメチルアミノキシト<sup>*</sup> 区分外</p> <p>成分についての情報:プロピレングリコール 日本産業衛生学会、ACGIH、NTP、IARCのいずれにも記載なし。ラット及びイヌの2年間の長期混餌投与毒性試験で腫瘍形成は見られなかった。ラット及びマウスへの反復皮膚塗布試験でも腫瘍形成は見られなかった。</p> <p>製品についての情報:データ不足で分類できない。</p> <p>成分についての情報:ジエチレングリコールモノブチルエーテル 妊婦に対する影響 区分外 授乳に対するまたは授乳を介した影響 薬物副作用は認められない 発育への影響 区分外</p> <p>成分についての情報:プロピレングリコール ・生殖毒性:5%のPGを給水投与したマウス継代試験では親及び次世代の繁殖及び生殖に影響はなかった。 * 毒性は極めて弱く、食品添加物にも指定されているが、皮膚に繰り返し接触すると湿疹を生じることがある。眼に入れると一時的な痛みを生じ障害を生じることがある。</p> <p>製品についての情報:データ不足で分類できない。</p> <p>成分についての情報:ジエチレングリコールモノブチルエーテル 単回暴露の毒性値に基づいて分類されない</p> <p>製品についての情報:データ不足で分類できない。</p> <p>成分についての情報:ジエチレングリコールモノブチルエーテル 反復暴露の毒性値に基づいて分類されない</p> <p>製品についての情報:データ不足で分類できない。</p> <p>成分についての情報:アミノ変性ホルムシロキサソ ある種のアミノ変性シリコーンは、ラットを用いたエアゾールの吸入試験でLC50:&lt;0.5mg/1/4hr という高い吸入毒性を示すことが知られている。しかしながら、経口、経費など吸入以外では有害性は観察されていない。本製品は、空気雰囲気下において150℃以上で加熱した場合、微量のホルムアルデヒドを徐々に生成致します。ホルムアルデヒドは皮膚、呼吸器系への感作性、目への刺激性及び発がん性の危険性が報告されています。従いまして、空気雰囲気下150℃以上で加熱するような条件下でご使用の際は、換気を十分行ってください。尚、換気が十分でない場合は有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用してください。</p>
---	--

12. 環境影響情報

<p><b>水生環境有害性 短期(急性):</b></p> <p><b>水生環境有害性 長期(慢性): 生態毒性:</b></p> <p><b>残留性・分解性:</b></p>	<p>区分1のヤシ油アルキルジメチルアミノキシト<sup>*</sup>の含有量が2.5%以下のため区分3とした。</p> <p>成分としての情報:ヤシ油アルキルジメチルアミノキシト<sup>*</sup> ミジンコに対しLC50 30mg/L(96時間)という情報がある</p> <p>製品についての情報:データ不足で分類できない。</p> <p>成分についての情報:ジエチレングリコールモノブチルエーテル 魚毒性:魚類への急性毒性は低い その他:オオミジンコ等の水生無脊椎動物、藻類への毒性は低い</p> <p>成分についての情報:ヤシ油アルキルジメチルアミノキシト<sup>*</sup> 96h-LD50:30mg/L ミジンコ 48h-EC50:2.2mg/L (環境省・生態影響試験結果,p15)オオミジンコ LC50:1.01mg/L(96h)オオミジンコ EC50:0.88mg/L(20-d)繁殖(経産省、ハザード評価シート,P2)(ラウリルジメチルアミノキシト<sup>*</sup>)</p> <p>成分についての情報:ジエチレングリコールモノブチルエーテル 生分解性良好 92%</p> <p>成分についての情報:プロピレングリコール 易分解性 BOD 1.08g/g COD(Cr) 1.68g/g, COD(Mn) 0.72g/g</p>
--	---

<b>生態蓄積性:</b>	成分についての情報:ジエチレングリコールモノブチルエーテル 蓄積性は低いと推定
<b>土壌中の移動性:</b>	成分についての情報:プロピレングリコール logPow -0.92~-1.32BCF は1以下である。
<b>オゾン層への有害性:</b>	情報なし

<b>13. 廃棄上の注意:</b>	
<b>残余廃棄物:</b>	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
<b>汚染容器および包装:</b>	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

<b>14. 輸送上の注意</b>	
<b>国際規制</b>	該当しない
<b>国内規制</b>	該当しない
<b>特別の安全対策</b>	転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。移送時にイエローカードの保持が必要。

<b>15. 適用法令</b>	
<b>労働安全衛生法:</b>	該当しない
<b>毒物及び劇物取締法:</b>	該当しない
<b>化学物質排出把握管理促進法:(PRTR法):</b>	法第2条第2項、施行令第1条別表第1、第1種指定化合物 政令番号 226号 ラウリルジメチルアミノキシド <sup>*</sup> 20%(ヤシ油アルキルジメチルアミノキシド <sup>*</sup> )
<b>消防法:</b>	第4類引火性液体、第三石油類水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1・第4類) :ジエチレングリコールモノブチルエーテル、プロピレングリコール
<b>船舶安全法:</b>	危規則第3条危険物告示別表第3 腐食性物質:ヤシ油アルキルジメチルアミノキシド <sup>*</sup>
<b>航空法:</b>	施行規則第164条危険物告示別表第1:ヤシ油アルキルジメチルアミノキシド <sup>*</sup>
<b>海洋汚染防止法:</b>	有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1):プロピレングリコール

<b>16. その他の情報</b>	
<b>参考文献</b>	原料試薬供給先から提供された MSDS 等 安全衛生情報センター GHS 対応モデルラベル・モデル MSDS 情報 独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム

●記載内容は、作成時点で入手できた資料、データ等に基づいておりますが、含有量、物理化学的性質などの値は保証値ではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いの場合には、使用者の責任において、用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。